

## ・ SQUID-TEM法（SUSTEM利用）による地熱探査に関するQ&A

（国内の一般的な探査の例）

**Q: 測定エリアの広さ、測定点の間隔はどのくらいですか。**

A: 測定の目的により異なります。地熱資源量調査の場合は、3 kmから5 km四方のエリアで40から50点での計測を行うことが想定されます。その場合の測定点の間隔は300 mから500 mになります。一方、掘削位置の精査の場合、例えば1 kmから2 km四方のエリアで40から50点の計測が想定されます。この場合の、測定点の間隔は100mから300mになります。

**Q: ラインソースの長さ、ラインソースから測定点までの距離はどの程度ですか。**

A: ラインソースの長さは測定エリア一辺の1～1.5倍程度に設定しますので、測定エリアの一辺が5 kmであれば5 kmから7 kmになります。測定点までの距離はラインソース長と同程度以上としています。